

2016年1月

心の傷、心の病、精神障害を背負って苦しんでいる人、差別されている人々のために祈ります。私たちがこの人たちの苦しみを少しでも理解し、寄り添い、偏見をなくしていきましょう。

2016年2月

目に見えない戦争、まだ終わっていない戦争である、家庭内の戦争の犠牲になっている女性と子どものために祈ります。DV、虐待に苦しむ女性や子どもが、またそのトラウマを抱えて苦しむ大人がふさわしいケアを受け、癒され、心の平和を取り戻すことができますように。

2016年3月

増加し続けている不登校の小中学生（注）のために祈ります。不登校に悩む子どもたちとその保護者、教職員に、必要な助けをお与えください。

（注）文部科学省の調査を元に朝日新聞が分析すると、1993年度の約3万3千人に対し、2014年度は約6万5千人だった。（朝日新聞デジタル、2016年1月31日）

2016年4月

この春、新しい環境で勉学や仕事をはじめたすべての人のために祈ります。どのような場にあっても、より不利な立場、弱い立場に置かれている人たちが優先され、守られる社会が実現しますよう、また私たちもそのためにあらゆる努力をすることができますように。

2016年5月

日本の大きな社会問題となっている「ひとり親家庭」のために祈ります。「ひとり親家庭」の親や子どもが十分な社会保障を得ることができ、世間のさまざまな誤解や無理解から守られ、精神的、肉体的な飢えが満たされますように。

2016年6月

就職活動に取り組む学生たちのために祈ります。内定のもらえない学生たちが、自己嫌悪に陥ったり、周囲と比較して一喜一憂したりすることなく、各自に与えられた使命を見いだすための力、知恵、健康をお与えくださいますように。

2016年7月

なし

2016年9月

LGBTの方々への差別や偏見を、私たちの心から取り除いてください。どのような生き方を選ぶ方をも尊重し、理解を示すことができますように。

(注) 女性同性愛者、男性同性愛者、両性愛者、生まれたときに法律的／社会的に割り当てられた性別にとらわれない性別のあり方を持つ人。

2016年10月

親の病気や虐待など、様々な事情のために、自分の家庭で暮らすことのできない子どもたちのために祈ります。そのような子どもたちが、神と人々のぬくもりを感じ、健やかに成長することができますように。

2016年11月

奨学金の返済に苦しむ人たちのために祈ります。まじめに学びたい学生が、将来重荷を背負うことのないシステムが整いますように。

2016年12月

孤独、貧困、病気など、さまざまな形の苦しみのさなかでクリスマスと新年を迎えなければならぬ人々の心に、希望の光が注がれますように。

2017年1月

新しい年にあたり、シャロームのメンバーである私たち一人ひとりのために祈ります。単なる社会活動家に陥ることなく、常にイエスを中心にした観想を土台として、言葉や行動を選び取っていくことができますように。

2017年3月

自殺対策強化月間にあたって祈ります。自らのちを絶つことを選ぶほど苦しんでいる方々に対して、主よ私たちに何ができるか示してください。

(注) 京都府では3月を自殺対策強化月間とし、3月1日を「京都いのちの日」と定めています。京都ND女子大学の河瀬雅紀先生は、京都府自殺対策推進協議会会長を務めています。

4月

なし

5月

なし

6月

ブラック企業に使い捨てにされ、離職せざるをえない人たちが大勢います。夢や希望をい
だいて旅立った若い人たちの誰もが、安心して働き、成長していける社会が築られます
ように。

7月なし

8月

自分の容姿、性格、学歴、職歴に劣等感を持っている人たちが、一人ひとりをこよなく愛
してくださるイエスに出会い、自信をもって生きていくことができますように。

9月

幻聴、幻覚、妄想などの症状に苦しむ身近な精神疾患の人たちを癒してください。ふさわ
しい治療を受け、周囲の無理解から守られ、速やかに回復することができますように。

10月

家族、学校、職場の人間関係の中で、死にたい思いを抱いている人たちを顧みてください。
一人ひとりが心の深みにあなたの現存を感じ、生きる希望を持つことができますように。